

酒販の基礎

言葉の定義

一般的な呼び方と違う場合がありますが、下記に統一します。

国産酒 : 日本国内で製造されているお酒。日本酒、ウイスキー、ワインなどお酒の種類に関係なく、日本国内で製造されたお酒

輸入酒 : 海外より輸入されたお酒

洋酒 : ブランデー、ウイスキーなど。細かい定義はされていないが日本のお酒を除くほとんど。製造場所は関係ない

日本のお酒(和酒) : 日本酒(清酒など)、焼酎、みりんなど

ECマーケットで取得している酒販免許について

ECマーケットでは以下の免許を取得しており、販売の範囲、方法が制限されています。

- ・一般酒類小売免許
- ・通信販売酒類小売業免許
- ・洋酒卸売業免許(恐らく)

※免許取得には「貯蔵庫」が必要となり、旧店が貯蔵庫になっています。

※お酒の販売は20歳以上です。以降、20歳以上の記述は割愛します。

一般酒類小売免許

お酒屋さんやコンビニなどが取得している免許。お店を構えて一般顧客へ販売

扱える酒類・・・全て取り扱い可能

販売範囲・・・

個人への販売可能（業者への卸不可）

店頭の場合、誰にでも販売可能

ネット販売の場合、長野県内のみ販売可能（免許を取得している県内のみ）

店舗販売が基本の為、各都道府県毎の免許取得となります。

通信販売酒類小売業免許

ネットで販売するための免許

扱える酒類・・・輸入酒のみ取り扱い可能

販売範囲・・・

個人への販売可能（業者への卸不可）

ネット販売のみで誰にでも販売可能

※厳密には国産酒も取り扱い可能だが、実際に販売できるものを調べるのが困難且つ少ない。

その為、輸入酒のみとしています。

洋酒卸売業免許

業者へ卸すことが出来る免許。

扱える酒類・・・洋酒のみ取り扱い可能（ウイスキー・ブランデーなど）

販売範囲・・・

業者への販売可能

※全酒類を卸す免許も存在するが取得が非常に困難の為、未取得

※日本酒、ビール、焼酎は卸販売出来ない

ECマーケットの販売ルート

酒販の免許により下記のような販売ルート

- ・国産酒の洋酒（国産ウイスキー、国産ブランデーなど）

ヤフオク!で長野県への発送のみで販売、又は卸業者へ販売

- ・国産酒の日本のお酒（日本酒、焼酎など）

日本酒は賞味期限ありの為、販売していない→スタッフへ販売

焼酎などはヤフオク!で長野県への発送のみ、又はスタッフへ販売。卸業者への販売不可

- ・輸入酒

ヤフオク!または卸業者へ販売

- ・ビール、発泡酒

スタッフ販売のみ。(販売条件が厳しい。安過ぎてもダメなど)卸業者への販売不可

- ・ワインなど果実酒(ドンペリ含む)

スタッフ販売のみ。

卸業者:セラー保管の場合と常温保管で価格が違う

ネット販売:販売可能。保管条件があまりにも悪く品質悪化の為、販売を避けている

※スタッフ販売について

卸、ネットで販売出来ないもの、販売条件が難しいものはスタッフへ販売している。(ビール、発泡酒、ワイン、焼酎など)

誰も購入しなかった場合、販売出来ず、保管または廃棄となります。

酒販の管理項目

- ・税務署への報告義務

下記を3月末締めで酒類別、リットル単位で報告します。

年間の販売量/年間の仕入れ量/在庫量

- ・法律で決められた帳票等

仕入れ先別、酒類別の仕入れ量 仕入れ先＝買取したお客さん

仕入れ先の住所

販売先(任意)

現金出納帳

ECでの管理方法

管理表と各店舗の現金出納帳で必要な情報を管理

管理表：

2種類存在。各店舗入力用と管理用があります。

各店舗入力用に入力（各店舗で買取をした人が入力）

管理用へ情報をコピーし、販売状況、保管場所、売上を管理

月末、3月末にExcelで集計し、報告（キャプテン又は税務署）

※集計用のファイルがあり、コピーして貼り付けると自動で集計

※売上の管理を管理専用のファイルで行っています。

このファイルが消える、データが消えると致命傷。取り扱い注意（POSと同じ機能）

POSでは管理していません。

業者への卸販売

現在、リユースで入っている株式会社蔵王へ送って売却

概ねヤフオク!の相場(平均から少し下くらいの価格)の70～80%程度

買取・販売に当たっての注意点

開栓扱いの商品は販売が出来ません。

未開栓のもののみとなります。「栓を空けていない」かではなく「栓を空けていない証明が出来るか」となります。

ヤフオクでの販売は非常に難しい

リユース想定で買取をすれば原価割れの可能性は低くなります。

(ヤフオクで売れなかった場合、リユースへの販売で利益が上がる)

ヤフオクで響、山崎など高額で取引されているが、長野県限定での販売の為、市場が非常に小さい。落札されても半分以上は県外の方

開栓扱いについて(過去の事例)

- ・フィルムなし

フィルムがなし。キャップに光沢があるので見るだけだと間違える可能性あり



- ・キャップが開けられている

キャップが開けられ、開栓後の瓶に残る側のものも外されている。



・ラベル、フィルムの剥がれ

切れているもの、剥がれているもの、フィルムが切れかけているもの

写真ありませんが、各店舗から移動の際、剥がれて箱の中に落下していたものあり。

古い商品で剥がれかけている、ギリギリついているものは輸送中に剥がれる可能性あり

これ以外に栓を回されていて、フィルムがついているように見えるが実は切れているというものもあり



樹脂カバーが破損

(開栓してないが開栓扱い)

